



No.197

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

巻頭	みのお市民権フォーラム 在日外国人分科会講演「あきらめない心」から…… 1	カレンダー	2024年1月の comm cafe ランチカレンダー …… 5
書評	『移民の子どもの隣に座る』(玉置太郎・著) …… 2	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ …… 6
紹介	commcafe シェフ紹介 ルーパさん …… 3	編集後記	編集後記 …… 8

報告

第37回 みのお市民権フォーラム 在日外国人分科会 講演「あきらめない心」から

12月17日に市立萱野小学校の体育館で行われた在日外国人分科会は、周年事業の特別公演として世界的なパフォーマーである「ちゃんへん。」さんを迎え開催された。

最初のジャグリングショーでは、ヨーヨーとディアボロ(大きなコマ)を上下左右に3~4メートルの範囲で操る演技が披露され、高度な技術を目の前で見ることができ、来場者全員がその迫力に魅了された。講演の初めには、立場による表現の違いの一つとして、1910年の日本と朝鮮半島の歴史的な出来事について、日本の教科書では「日韓併合」と表現され、大韓民国の教科書では「日本が朝鮮半島を植民地支配した」と表現され、また、朝鮮民主主義人民共和国の教科書では「日本が朝鮮半島を侵略した」と表現されている。それぞれの立場によって感じ方や表現が全く異なり、それが現在も東アジアの歴史的な相違点となっていると説明された。

在日コリアンである自らも小学生の時に国籍

が理由で、靴箱から上靴がなくなったり、「死ね」と落書きされ、集団で暴力を受けるなどの「いじめ」を受けた。そして、その辛さから死も考えたそうだ。しかし、学校生活から一時的に身を遠ざけたことで、新たな出会いも得たという。「逃げる」ことも決して悪いことではなく、一つの選択肢として人生が豊かになる。自分の場合は、それでジャグリングと出会い、人生に変化が起こったという。



今回の講演の中で特に印象に残ったのは彼の母親の話だった。特にいじめが激しかった時期に、彼女は校長先生に「いじめがなくなるのは、この学校で子どもたちにとって、いじめより面白いことがないからや」と伝え、いじめていた子には「素敵な夢を持っている子は”いじめ”なんかせえへん」と直接話した。また、彼自身には「好きなことに出会い一番になることで、いじめられるどころか、自分を守ってくれる。コンプレックスを武器に変えることができる」と発破をかけたそうだ。

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会 (MAFGA)

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp HP : www.mafga.or.jp

賛助会員数：323名 法人会員数：26団体 (2024年1月16日現在)

その後、彼は単身、アメリカをはじめ世界82か国で演技を披露し、コンテストで最優秀賞をとるなど、世界的なジャグリングのパフォーマーとして活躍している。

「世界的パフォーマー」という輝かしい功績の陰には、日々の研鑽があることを、リハーサルで長い時間をかけて、一つひとつの技を入念に確認する彼の姿を見ながら思った。



最後に、ラップ音楽で自身の思いを表現された。

そんなちゃんへんさん。だからこそ、年間100本以上の公演をするほど、たくさんの人を魅了するのだろう。

現在も様々な差別が存在するが、すべてに立ち向かうことは難しく、逃げることも選択肢としてある。結果として差別を克服する力になっていく、とのメッセージを与えてくれたように感じた。

同時に、マイノリティの努力だけに依拠するのではなく、「マジョリティ側の行動を伴った意識改革と公平な制度」が、全ての人に生きやすい社会をつくる礎となることを覚え、地域密着型の国際交流協会として、様々な人が生きやすい地域づくりに取り組んでいきたいという思いを新たにした。(宇治野)

みのお市民人権フォーラム

第37回を数える今回は、「箕面市人権宣言」30周年と「箕面市人権のまち条例」施行20周年の節目。全体会では元厚生労働省事務次官の村木厚子さんの記念講演が行われた。各分科会の最初には、今回のために作成された箕面市人権宣言の朗読ビデオが放映された。ビデオは右記QRコードから視聴可能。



ちゃんへん ./ 창행 ./ CHANG-HENG.

1985年10月10日、京都府宇治市ウトロ地区生まれ。大阪府在住。ジャグリングパフォーマンスのほか、年間100以上の講演をこなす。著書『ぼくは挑戦人』。



『移民の子どもたちの隣に座る ～大阪・ミナミの「教室」から～』 (玉置太郎著・朝日新聞出版)

書評

著者は朝日新聞の記者。社会部記者として取材するなか大阪ミナミの島之内にある「Minami こども教室」(以下、こども教室)に行き当たる。島之内は人口6千、3割以上が外国籍、面積1km²以下という地区。こども教室は飲食店などで働く移民の子どもへの学習支援、子どもたちの居場所づくり、移民家庭の生活支援などの活動をするボランティア団体。2013年9月発足。その前年、この地区でフィリピン人母子の無理心中事件があり、小学校に入学したばかりの男の子が亡くなった。小学校の校長をはじめ多くの人々が衝撃を受け、校長はこういう事件を2度と起こさないために、移民の子どもや家庭を支援する組織を立ち上げようと賛同者を集め、賛同メンバーが実行委員会を作り、こども教室の運営を始めた。

こども教室ができて半年後、著者はこの活動への参加を決め、毎週こども教室に通い始めた。家も島之内に借り、夫婦で引っ越した。1:1で子どもの隣に2時間座り、教えたり、遊んだりした。本書で著者は昨年までの約10年にわたるボランティアとしての体験を詳しく紹介し、公正な共生社会を作る上でマジョリティとして考えるべきことなどを熱意を込めて訴えている。



彼が体験した多くの事例の一つにタイ育ちの女の子Aさんのケースがある。母親はタイ人、父親は日本人で両者が離婚したため、父娘で島之内に移住。6年生の時からAさんはこども教室に通っていた。しかし高校生の時、父親が脳出血で倒れ長期入院することになる。頼る縁戚はなく一人暮らしをしなければならなくなった。こういう事態に遭遇した場合、我々ならどう対応するであろうか。こども教室の場合、そのAさんを担当していた女性ボランティアが、夫に事情を説明して、そのAさんを1か月自宅に泊め、通学させながら、一人暮らしができるように家事を教えた。父親の世話、家賃納入、生活保護の申請などには教室のボランティアたちが付き添った。Aさんが一人暮らしを始めると、著者は実行委員会の許可を得てAさんを毎週1回食事に招いた。家が近かった。日ごろは一人で緊張を強いられる生活をしているAさんも食事に招かれた時は普通の高校生に戻っておしゃべりを楽しんだ。誕生日などはAさんの友人も招いて祝った。今、島之内を離れ看護学校に通うAさんは、休みになるとこども教室に来て子どもたちの勉強を見ている。

著者は2017年6月から会社を2年休職し、ロンドンに留学。移民について学び、難民の子どもを支援する活動も行った。帰国後また島之内に家を借り、こども教室のボランティアを再開した。その翌年から3年間はコロナ禍。多くの移民の親たちが仕事を失った。彼らを支援するため、近くの子ども食堂と連携して弁当づくりとその配達が始まった。弁当希望者がどんどん増え、1日150食、週5日になったこともある。こども教室発足後10年。まだまだ当初の情熱がたぎっている。教室の活動も、弁当作りも、全て寄付金、食材の寄付などで賄われており、有償スタッフもいないようだ。

著者は「Minami こども教室」の意義について思いを述べている。移民ルーツの子が自分らしく成長できる共生社会を作っていくには、同化主義でなく、母語・母文化の継承を肯定的にとらえる環境が大事だ。そこで子どもらは己の価値を見出していく。ただ現実是一部の人しか母語・母文化へのアクセスができない。別の選択肢がこども教室だと著者は云う。こども教室では「違い」を肯定的に受け止め、子どもらは移民ルーツのロールモデルから学べることも多い。交流が進むにつれ「支援する側」も「支援される側」も、マジョリティもマイノリティも互いに与え、互いに得るものがあるようになり、その境界はあいまいになっていく。「相手の立場に立ってみる」という表現が真に迫る場所だ。ロンドンの難民支援でも同じことを感じたと言っている。著者はいう。マジョリティも多くを学び、自身を変化させていくところにこども教室の大きな意義がある。このような場所を設けるのはマジョリティの役割であり、一人ひとりが考えるべきことでもあると著者は語る。(荻野)



コムカフェ・シェフ紹介 シン・ルーパさん

私がインドと聞いて思い浮かぶのは、人口が世界1位、0の発見、小学生が2けたの掛け算をできる、お釈迦様の故郷、でも仏教徒は少ない、タージマハル（国王が亡き妃のために建立）などである。

インドと言えばカレー！と日本人なら誰でも思うに違いない。ルーパさんのランチを食べて、美味しい、こんなに美味しいカレーを作るルーパさんはどんな人、これは彼女に聞いてみなければ！と思い、お話を伺った。

(次ページに続く)



ルーパさんは2017年9月、阪大でヒンディー語を教える夫と共に来日、現在4歳の息子との3人暮らし。カンプール (Kanpur) 出身で、インド北部のカンプールは1年中暑い地域だそうです。インドのカレーにはナン、とすぐ思うがナンを食べる事は少なく、良く食べられるのは15~20センチくらいの丸いチャパティだそうです。ナンは大きな焼き釜がないとできないし値段の高い薄力粉で作られるが、チャパティは全粒粉が使われフライパンのような小さな鍋でも作る事ができるので、家庭ではチャパティを食べることが多い。ご飯も食べられる。この日のカレーに添えられていたのもグリーンピース入りのバスマティ米のライスだった。カレーにはたっぷりのひよこ豆が入っていたが、ひよこ豆は良く使われると言う。ルーパさんはベジタリアンなので、肉は食べない。カレーの味は、肉を使わないけれど調味料などが工夫されていて本当に美味しかった。



- ・野菜とソーヤチャンクス (大豆ミート) のミックスカレー
सोयाबडी सब्जी
- ・ほうれん草ご飯
पालक पुलाव
- ・ブレッドパコラ
ब्रेड पकोडा
- ・ライタ (キュウリと人参入りのヨーグルトサラダ)
सलाद
- ・パーミセリのミルクプディング
सेवई

お話を伺っていて驚いたのは、インドでは冷たいものは食べない飲まない、という事だ。暑いカンプールで冷たい飲み物を飲まないのかと尋ねると、「身体に良くないでしょ、日本人が冬なのに冷たい飲料水を自販機で買っているのが不思議でならない」との事だった。インドでの買い物についてのお話。冷蔵庫はほとんど使わない。肉などは使う分だけ買いに行き、野菜を少し買いおく程度。これには停電が多くて冷蔵庫があまり役に立たないと言う事情もあるようだ。

大阪に来た時の感想を聞いた。「天国みたいと思った」。なぜ? 街がきれいであること。そしてバスや電車でも困っていると皆が手伝ってくれたと言う。日本語がまだ全くできない頃、「タクシーに乗ったら、運転手さんが親切で、言葉が通じないのにいろいろ調べて目的地まで連れて行ってくれた」。彼も、英語ができないけれど身振り手振りで一生懸命だった、人助けに言葉はいらないと感じたようだ。

最後に広いインドを旅行するにはどこがお勧めか尋ねてみた。南インドのバンガロールは治安も良く安全なので楽しい旅ができるし、この辺りの列車は窓ガラスがないから、風がびゅうびゅう通り抜けて実に気持ちが良いのだそう。「窓から落ちないように気をつけてね」とルーパさん。インド北部ではカンプールに近いアラハバードやベナレスがお勧めである。ベナレスは雰囲気京都に近いかな、と言う。話は尽きなかったが、興味を持たれた方、ルーパさんの美味しいカレーを召し上げられ!!そしてインドへの旅をお勧めする。(井嶋)

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科



おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	△	△	△	△	△	△

※診療開始 30 分前から受付します。

■胃カメラは予約制です (□ 印)

■休診日: 月・火・金・土曜午後、木曜、日祝日

■<http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/>

【住所】562-0023

箕面市栗生間谷西3丁目7-9シャトー野間1F

阪急バス停留所「宮の前」スーパーマルヤス向い

◎無料駐車場 有

072-730-0721



エスパーロ
能勢
espero osaka

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間: 金~月 11:00 ~ 17:00

<http://espero-osaka.com/>

箕面市国際交流協会の

多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912

(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時: 火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法: 来館、メール、電話

対応言語: 日本語、韓国語・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所: 箕面市立多文化交流センター

2月
February



comm cafe ランチカレンダー

コムカフェ

火・木～土

9:30 - 11:30 朝カフェ
11:30 - 14:00 ランチ ¥990 * 売り切れ次第終了
14:00 - 17:00 午後カフェ

日・祝日 * ランチはありません

10:00 - 13:00 世界の朝ごはん ¥770 (ドリンク付)

コムカフェでのお支払いには、現金・まーぶ・comm cafe クーポン券のほか、PayPay がご利用頂けるようになりました。(2023/11/1～)

おしらせ **MOOK 本完成!**

コムカフェ MOOK 本「世界をつまみ食い! 1つのカフェ×6つのしよく〜食・触・職・色・織・ショック!?!」が刊行されました。この MOOK には、10年以上に及ぶこのカフェのあゆみがギュッと一冊にまとめられています。

カフェに置いてありますので、手に取ってぜひ読んでみてください。お買い求めを希望される方は、スタッフまで直接お問い合わせください。(一冊 3,000 円)

ス… スナック & スウィーツの日 イ… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび	にちようび
			1 チノさん 《タイ》	2 ボルマーさん 《モンゴル》	3 ニダルさん 《シリア》	4 ス MAFGA スナック
5 休館日	6 ルーパさん 《インド》	7 店休日	8 ティティさん 《ベトナム》 <i>チャレンジカフェ!</i>	9 フランクリンさん 《キューバ》 イ 「街は誰のもの?」上映会 17:00-20:00	10 協会主催事業のため ランチはお休みです。 イ ベトナムのお正月 「テト」を楽しもう 9:30-13:30	11 ス MAFGA スナック イ トークイベント 13:30-16:30
12 祝日 ス MAFGA スナック	13 ノックさん 《タイ》	14 店休日	15 カビタさん 《インド》	16 ボルマーさん 《モンゴル》	17 ス MAFGA スナック イ Baroque in 箕面 18:00-20:00	18 世界の朝ごはん 《ペラルーシ》 10:00 ~ 13:00
19 休館日	20 ファルザナさん 《バングラデシュ》	21 店休日	22 ノックさん 《タイ》	23 祝日 ス MAFGA スナック	24 ホーさん 《香港》	25 イ 「チャレンジカフェ!」 世界の朝ごはん ハディさん 《セネガル》 10:00 ~ 13:00
26 休館日	27 カビタさん 《インド》	28 店休日	29 ティティさん 《ベトナム》			

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きよ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgachallengecafe>



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで スマートフォン・パソコンからの参加申込みも可能です。
URL もしくは二次元コードからアクセスして、各イベントのページから申込みください!

【申込み先】

☎: 072-727-6912 FAX: 072-727-6920 <https://mafga.or.jp>



イベント情報

特に記載がないものは、箕面市立多文化交流センター で開催します。

上映会

2/9 (金)
17:00-20:00

映画「街は誰のもの？」上映会&監督トーク

ブラジル・サンパウロのストリートで表現活動をするアーティストたちを捉えたドキュメンタリーの上映。上映後、オンラインで監督とつなぎ、トークセッションを行う。

- ◎ 阿部航太 (映画監督)
- ◎ フェルナンダ・パウザッキ・ジ・モウラ (ファシリテーター・大阪大学学生)

場 所: ミーティングルーム
定 員: 30名 (要申込み)
参加費: 無料
※フンドリンク (330円~) 制



イベント

2/10 (土)
9:30-13:30

ベトナムのお正月テトを楽しもう

地域に住むベトナム出身の方と一緒に、ベトナムの正月「テト」をお祝いしませんか? ベトナムちまき、団子のデザート (チエ) を作るワークショップ、テトについてのプレゼンなど。お正月料理 (角煮とにこごり、鶏肉と春雨のスープ) の提供もあります。

場 所: comm cafe
定 員: 30名 (要申込み)
参加費: 2,000円 (一般)
1,500円 (大学生以下、
技能実習生、アオザイ着用)
※未就学児無料



トーク

2/11 (日)
13:30-16:30

100年の時を超え、越境人としての生き方に触れる

講師の亡き父・マルセ太郎の映像「スクリーンのない映画館『泥の河』」を上映し、在日コリアンの歴史をふりかえる。

- ◎ 金梨花 (『マルセを生きる!』著者・在日朝鮮人3世)

場 所: comm cafe
定 員: 20名 (申込み不要)
参加費: 無料
※フンドリンク (330円~) 制



コンサート

2/17 (土)
18:00-20:00

2挺のバロック・チェロによるデュオコンサート Baroque in 箕面

世界的に活躍するバロック・チェロ奏者2名を迎え、2挺がありなすハーモニーをお楽しみください。comm cafe によるディナーつき。

- ◎ 中嶋奇恵 (バロック・チェロ) ◎ 中村仁 (バロック・チェロ)

場 所: comm cafe
定 員: 50名 (要申込み)
参加費: 3,500円 (一般)
2,500円 (会員及び22歳以下)
※いずれも食事つき



キューズリビング

2/21 (水)
10:30-12:00

ことばから見えてくるその国の文化と生活 中国編

その国の出身者がリアルなことばや会話を紹介し、くらしを垣間見ろ。お茶を飲みながら、参加者とことばの交流をしましょう。

- ◎ 孫優紅 (中国出身)

場 所: みのおキューズモール
CENTER-2F キューズリビング
定 員: 5名 (要申込み)
参加費: 550円



トーク

2/24 (土)
15:00-16:30

遊牧世界の女性たち~その想いは草原を駆け抜けて~

リレー写真展「遊牧民の世界」(次ページ参照) に合わせ、スライドや写真を使って、遊牧世界の女性たちのライフヒストリーをひもとく。

- ◎ ツェレンダグワ・ムンフバヤスガラン (バイサ) (協会職員)

場 所: comm cafe
定 員: 20名 (要申込み)
参加費: 無料
※フンドリンク (330円~) 制



しょうだんかい 相談会

3/2 (土)
13:30-15:30

しょうだんかい 小学校生活についての相談会

外国にルーツのある子どもと保護者のための小学校生活についての相談会を、開催します! 箕面市教育委員会の先生に直接質問できます。

対象: 外国にルーツを持つ子どもと保護者 (通訳が必要な人は事前に申込んでください)
場所: 講座室
参加費: 無料

唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で40年の歴史~

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT会員

*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Diploma)や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才~80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より30M)
072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの団体へお願いします。

<p>展覧会 開催中 ～3/7 (木)</p>	<p>リレ写真展 「遊牧民の世界～モンゴル、カザフ、トゥバの過去と今～」 NPO 法人北方アジア文化交流センターしゃがあ理事長・西村幹也が現地で撮りためた写真を展示します。時期ごとに、4部構成でお送りする。 1/10～「遊牧世界の子どもたち」終了、1/26～「遊牧世界の女性たち」、2/8～「トナカイと暮らす人々」、2/29～「遊牧世界 2023年」</p>	<p>場 所：comm cafe 参加費：無料 (申込み不要) 問合せ：npo@shagaa.com 主 催：NPO 法人北方アジア文化交流センターしゃがあ</p>
<p>マルシェ 2/12 (月・祝) 10:00-16:00</p>	<p>チャリティ フェアトレード マルシェ 好評のフェアトレードマルシェを今年も開催。ネパール・インドの手仕事として手編みニットやアクセサリー、有機森林農法のコーヒー・紅茶・カレー・チョコレートや、オーガニックコットンの洋服などを販売。 今回は、「ゆめ風基金」https://yumekazek.com/ を通して、売上げの10%を能登半島地震の被災地へ送る。</p>	<p>申込み：不要 (直接お越しください) 場 所：みのお市民活動センター会議室 (みのおキューズモールWEST1-2F) 主 催：みのおフェアトレードの会・楓 問合せ：080-3764-7905 (斎藤)</p>
<p>セミナー 2/15 (木) 14:00-16:00</p>	<p>外国人のための保健・医療サポートセミナー 2023 「やさしい日本語を使っていますか?～だれもが分かりやすいコミュニケーションのために～」 毎年、医療従事者や市民向けに、外国人医療について考える。今回は、「やさしい日本語」がテーマ。 ◎ スミス朋子 (大阪医科薬科大学 教授) ◎ 大谷晋也 (大阪大学 准教授)</p>	<p>定 員：100名 (申込み先着順) 場 所：箕面市立病院 いろはホール 参加費：無料 ※一時保育あり 申込み：072-724-6720 (箕面市人権文化部長 施策室)</p>
<p>大阪大学 毎月第三木曜日 2/15 (木) 19:00-20:00</p>	<p>マンズリー多文化サロン イタリア語編 「コロナ禍のなか再読されたイタリア文学」 大阪大学の教員が、諸外国・諸地域の文化や生活などを紹介。 *オンライン併用のハイブリッド開催。 ◎ 霜田洋祐 (大阪大学 人文学研究科 講師)</p>	<p>参加費：無料 場 所：大阪大学箕面キャンパス 1F 大講義室 申込み：2/5～2/15 に HP、TEL で https://www.sfs.osaka-u.ac.jp/ 主 催：大阪大学外国語学部 申込み・問合せ：072-730-5013</p>
<p>相談会 2/17 (土) 10:30-16:30</p>	<p>外国人のための一日離職相談ホットライン 離職について弁護士と相談できます。法律やビザ、そのほかいろいろ、外国人サポートの専門家と相談できます。相談料は無料です。 主催：大阪弁護士会、リコン・アラート (事務局：とよなか国際交流協会)</p>	<p>相談方法：①電話 (06-6364-8825)、②Zoom、③対面 (大阪弁護士会館) 予約：①不要、②③2/14 までに予約 (予約先：06-6843-4343 atoms@a.zaqq.jp)</p>
<p>セミナー 2/17 (土) 15:00-18:30</p>	<p>まなびカフェ “紛争地” パレスチナに関わり続けること パレスチナとかかわる人から話を聞き、「関わり続けること」について考える。2/9～28 写真展も同時開催。※ 15:00～16:30 ボードづくりワークショップ ◎ 高橋智恵 (「架け箸」代表) ◎ 村上まい (「さぼてん企画」) ◎ Kansai Youth Movement For Change メンバー</p>	<p>定 員：30名 (ワークショップは10名) 場 所：らいとびあ 21・1F 展示コーナー 参加費：無料 主 催：らいとびあ 21 申込み・問合せ：072-722-7400 共 催：箕面市国際交流協会</p>
<p>セミナー ① 1/21 (日) 終了 ② 2/18 (日) ③ 3/3 (日) ④ 3/23 (土) いずれも 14:00-16:00</p>	<p>とよなか国際交流協会 30周年記念 連続セミナー・シンポジウム ① 多文化共生社会を問う～外国人の歴史的状況から～ 終了 ② 日本で暮らす難民移住者たち ◎ ビスカルド篤子 (カトリック大阪高松大司教区シナピス副センター長) ③ 世界のミカタ～市民として出会い、知り合う～ ④ 【シンポ】多文化を大事にする地域社会をどうデザインしていくか考える ◎ 金迅野 (立教大学 特任准教授) ◎ 榎井緑 (大阪大学 特任教授) ◎ 山野上隆史 (とよなか国際交流協会 事務局長)</p>	<p>定 員：②・④ 60名 ③ 40名 (いずれも要申込み) 場 所：とよなか国際交流センター (豊中市玉井町 1-1-1-601) 参加費：無料 主 催：(公財) とよなか国際交流協会 申込み・問合せ：06-6843-4343 atoms@a.zaqq.jp</p>

coupe de Minami スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?




ボディに布を直接のせて服をつくってみましょう!
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和42～45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、デザイン等を修得

昭和45～47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ：〒562-0012 箕面市白鳥2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151
E-mail info@coupe-de-minami.com URL <http://www.coupe-de-minami.com>

法人会員 募集中!

箕面市国際交流協会では、法人会員 (年会費 1 口 10,000 円) を募集しています。「めろん」広告掲載料 20% 割引やチラシの封入 (年 3 回まで) ができるほか、語学講座受講料の 30% 割引 (3 名まで) もあります。また、年会費が税額控除の適用対象となる税制優遇措置もあります。法人会員となって、ぜひ協会の活動をサポートしてください! くわしくは、お問い合わせください。

めろんへのご意見・ご感想をお寄せください。

いつも「めろん」をお読みいただきありがとうございます。このテーマをもっと掘り下げてほしい! 「前回の掲載されていた記事面白かったよ」「めろんで取材にきませんか?」などなど、読者のみなさまからのご意見・ご感想を大募集! 編集ボランティアも募集中です。info@mafga.or.jp までお寄せください。

編 集 後 記

今年も日本はいろいろ問題を抱えているが、その一つがよく言われる少子化に伴う労働力人口の減少の問題。それへの対応策の一つが外国人材の受け入れ拡大で、国はここ数年、その対応に熱中している。2018年に特定技能という在留資格を作り、特別な技術や技能を必要としない労働分野に外国人を初めて受け入れ、厳しい条件をクリアし特定技能2号を取得すれば、家族とともに日本に長く在留できる制度が作られた。合わせて「外国人材受け入れ・共生のための総合的対応策」が出され、こちらは毎年改訂され、また2022年からはロードマップ化された。それらが実を結び、労働力不足が解消され、多様で活力ある共生社会が生まれれば良いと思う。ただ総合的対応策の実施は地方公共団体に委ねられている。地域により条件が異なるのでやむを得ないが、ちゃんとやられているか評価ができるようにすべきと思う。

一方、本号で紹介した「Minami子ども教室」。市民による移民の子ども・家庭への支援活動であるが、国の施策とは無関係に、「人間としてこうすべきだ」との市民の思いだけで始まった活動である。地域、地域で在留外国人の状況も異なり、共生活動も、キーワードの「多様性」そのままに行政、市民それぞれに、多様な活動が行われている。それらが様々につながりながら発展して欲しいと思う。ただどの活動も、在留外国人の抱える問題・要望及び共生策の効果を数年おきに調査して実態をよく見て進めることが大事であろう。総合的対応策にある「『在留外国人に対する基礎調査』等による実態把握」は国としてやるだけでなく、各地域でも規模を小さくしてやるべきではと思う。(荻野)

アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」または赤ルート「小野原南」から西へ約 550m
 - (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約 200m
- ※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原 ② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西5丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から JR茨木方面から	92	① 小野原 ② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、ツェレンダグ、ムンフバヤスガラン、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：(公財) 箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター
Tel : 072-727-6912 Fax : 072-727-6920 E-mail : info@mafga.or.jp

HP : www.mafga.or.jp FB : facebook.com/Mafga みの多言語ポータル : https://portal.mafga.or.jp/